2024 年 7 月 24 日
木材・プラスチック再生複合材部会
部会長 苅谷 昭斉

木材・プラスチック再生複合材部会
2024 年度活動方針

現在、世界は、気候変動、国際情勢が混迷を深める中、2024 年は米国大統領選挙ほか、多くの国が重要な政治日程を迎える。日本に目を向ければ、少子高齢社会の中での財政再建、ジェンダー平等の実現、脱炭素社会への転換、対外政策など、これからのグランドデザインが問われる正念場にいる。こうした問題は、住宅・建築物の脱炭素化の加速、住生活に対する消費者意識の変容、エネルギー価格・物価の高騰などを引き起こし、建材・ 住宅設備業界は急激な対応を迫られている。こうした情勢変化への対応に加え、人口や世帯数の減少に伴う新設住宅着工戸数の減少など、中長期的かつ構造的な問題への対応も求められている。

これらの社会情勢を受け、部会ビジョンは WPRC 部会の活動を通して、WPRC の市場拡大と持続可能な社会の実現に貢献とし、今期の活動方針は、WPRC の特性を活かした多回(水平)リサイクル実現により「資源循環モデル」の構築を図るとともに、その意義を広く社会に伝えるとする。

また、海外拡販に向けた国際標準化事業では 2018 年 3 月に日本提案の WPRC の素材規 格(ISO20819-1)を発行し、2023 年 3 月に WPRC の試験方法に関する規格(ISO20819-2)が発行され、国際標準化に向けた活動は完了した。本年度からは、塗料・建材分科会の下部組 織として WPRC WG を立ち上げ、これまでに制定した ISO 規格などの普及促進に取り組 み、特に ASEAN 諸国ほかでの拡販を促す調査・ヒアリングを実施する。

■重点活動テーマ

１．WPRC の市場拡大、多回（水平）リサイクル実現のための普及広報活動を行う

１）情報発信

・英語版を含むホームページの維持、更新原案の作成（環境指標 WG と連携）

・環境指標 WG が作成する動画コンテンツを建産協サイトに掲載

２）情報収集

・多回（水平）リサイクル実現に向けた情報収集（環境指標 WG と連携）

２．WPRC･JIS、及び関連認証の啓蒙･管理、多回（水平）リサイクルの効果確認を行う

１）多回（水平）リサイクルの方向性を整理。

２）WPRC 製品 JIS を基に公共建築工事標準仕様書への掲載を目指す。

３．海外拡販に向け国際標準化事業への支援活動を行う。
１）ターゲット国等を訪問し現地関係者との人的交流を行い、当該国の WPC、WPRC の使用状況、市場の調査等を通じて、現状の国際規格の見直しなどに益する情報の収集等も行う。
２）ISO の国際会議の場を利用し、ISO 規格に対する各国からの意見聴取や PR を 行うとともに、将来の ISO 改正、国家規格としての採用の働きかけを行う。

４．政府広報活動への協力を行う。
１）・ｼﾞｬﾊﾟﾝﾎｰﾑ＆ﾋﾞﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｼｮｰ（JHBS)出展

５．部会の一層の活性化、会員募集の実施

以上